

！ 赤い文字は本来のテキストには記載されておられません。授業の進行具合の解説、もしくは授業で生徒が記述する部分です。

動詞

英語では1つの文に動詞は1つだけ使います。置く場所は主語の背後です。

○ 動詞は一般動詞と be 動詞に分けることができる。

be 動詞 (am / is / are の3つだけ)

意味 (です / ます / います / あります。)

一般動詞 (be 動詞以外の全ての動詞)

ルール

1つの文に動詞は1つ (一般動詞と be 動詞はどちらか1つしか用いない)。

? なぜ2つに分類するのか。

(「否定文・疑問文の作り方が違う」というルールから覚えます。)

○ be 動詞の使い分け ルール

is を使う場合 (主語が1人か1つ・1匹(単数)の場合)

are を使う場合 (主語が2人以上か2つ以上・2匹以上(複数)の場合)

(例外) (主語が I の時は am を使う)(主語が You の時は are を使う)

○ 否定文疑問文の作り方。

be 動詞

・ 彼は背の高い学生ではない。 否定文:作り方 (be 動詞の後ろに not を置く)

He is not a tall student.

・ 彼女は可愛いですか。 疑問文:作り方 (be 動詞を主語の前に出す)

Is she cute?

- ・ 彼らはその部屋の中にいない。 Be 動詞には「います」の意味がある。

They are not in the room.

- ・ その大きな猫は屋根の上にありますか。

Is the big cat on the roof?

一般動詞

！ この作文では主語と述語=動詞に加えて目的語が何かをわかっていなくてはなりません。目的語（動作の目的・対象となる言葉「誰を・誰に」「何を・何に」という言葉を日本文の中で見分けれることが重要です。

- ・ 私はそのケーキを食べない。 否定文： 作り方（ 主語と動詞の間に do not ）
I (主語) do not eat (述語=動詞) the cake (目的語) .

！ ベーシックの英作文では日本文の中から主語、述語、目的語を見分ける訓練から始めます。そして「主語」「述語=動詞」「目的語」という基本の語順をしっかりと覚えてもらいます。

- ・ あなたは公園でサッカーをしますか。 疑問文： 作り方（ 主語の前に do ）
Do you (主語) play (述語=動詞) soccer (目的語) in the park (副詞) ?

！ 次に、言葉の品詞を覚え、日本文の中から見分けれるよう訓練します。初めは、英語では「名詞=名前」「動詞=動作を表す言葉」「形容詞=名詞を修飾する言葉」「副詞=動詞を修飾する言葉」と覚えます。各品詞によって英文の中で置く場所が決まっています。

- 名詞 : 主語・目的語・be 動詞の後ろ これは徐々に覚えてもらって構いません。
- 動詞 : 1つの文に1つ。主語の後ろ
- 形容詞 : 名詞の前にくっつけるか、be 動詞の後ろ
- 副詞 : 文の最後

この要領で講習の間、たくさん作文を書いてゆきます。